

原 明 議員（代表質問）

1 養鶏場建設問題について

- ・ 養鶏場建設の現況と対応について

2 駅周辺の都市計画について

- (1) 中滑川駅（JA会館跡地）、滑川駅前（市営住宅）の利用計画について
- (2) 協議会による跡地利用の方針、計画はいつ頃までに示すのか。

3 創業支援事業計画について

- ・ 創業支援事業計画の対象者に、事業継承者も認定すべきではないか。

4 観光事業について

- (1) 富山湾岸クルージングの運航状況について
- (2) 花火大会へのクルージング船運航について

5 農福連携の推進について

- (1) 滑川市での農福連携の事業所と品目は。
- (2) 市での生産、販売促進、利用拡大をどのように推進していくのか。

6 有害鳥獣対策について

- (1) 有害鳥獣の被害状況と今年の熊の出没予想と対策について
- (2) 有害鳥獣捕獲隊員の確保と育成が最重要課題ではないか。

- (3) 県、近隣市町村との連携と管理体制、捕獲隊、地域住民の協力体制の強化を推進すべきではないか。

7 農業の振興について

- ・ 新規就農者支援事業の取り組みについて（土地、機械、技術指導、資金援助など）

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 北アルプス横断道路構想について

- (1) 重点事業要望の北アルプス横断道路構想に対して、要望等具体的なアクションについて
- (2) 横断道路構想ルートを選定一本化への取り組みについて
- (3) 横断道路構想具現化への取り組みに対する早月川水系に隣接する市町との連携について
- (4) 早月川水系に隣接する市町との、北アルプス横断道路構想促進期成同盟会（仮称）の設置について

2 小中学校の土曜授業について

- (1) 3年目となる小中学校の土曜授業の、当初導入時の目的に対する結果・評価について
- (2) 児童生徒、保護者、教職員、地域関係者、諸団体等の、土曜授業に対する声、評価について
- (3) 土曜授業に対する、県、並びに他市町村の評価、見解について
- (4) 土曜授業の見直し、並びに土曜学習への移行の検討について

3 放課後子ども教室について

- (1) 放課後児童クラブの実績と現状について
- (2) 放課後児童クラブ以外の児童生徒の実状について
- (3) 放課後子ども教室の拡大について
- (4) 子ども教室指導者としての、コーディネーター、ボランティアの育成について

4 公共施設の防犯カメラ設置について

- (1) 公共施設の安全安心セキュリティについて
- (2) 小中学校の防犯カメラの設置状況と設置について
- (3) 主要な公共施設の防犯カメラの設置状況と設置について
- (4) 市内の幹線道路の防犯カメラの設置状況と設置について

古沢 利之 議員（代表質問）

1 滞納処分（差押）のあり方について

- (1) 差し押えに至る手続きを確認する。
- (2) 差押禁止債権とされるものの取り扱いはどうしているか。
- (3) 差押禁止債権が預金口座に振り込まれた場合はどうしているか。

2 国保の県域化について

- (1) 県域化に向けての準備状況は。
- (2) 今後の市の役割について
 - ア 保険税率等の決定は。
 - イ 従来の法定外繰入などは。
 - ウ 県へ納付金が求められると聞いているが、どのように決められるのか。

3 学童保育充実について

- (1) 実施場所は依然として課題と思えるが。児童の「生活の場」としての適切な環境整備が必要
- (2) 「支援員」の資格取得の状況
- (3) 支援員・指導員の処遇改善

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 屋内練習場建設について

- (1) 3月議会で賛成討論したが、あの時は簡素な建物で予算をかけないとの説明だった。しかし、総務文教委員会協議会で提示された計画は当初をはるかに超えた額であった。なぜこのようなことになったのか。
- (2) 今議会に提出を見送った理由は。
- (3) 見直して提出されるとのことであるが、次はどのような方針になるのか。

2 新駅設置について

- (1) あいの風とやま鉄道開通前は県内新駅設置の気運が高まっていたが、各市の様子はどうか。
- (2) 富山県の考え、方針はどうか。
- (3) 滑川市も新駅設置に向け積極的だったが、現状はどうなっているのか。

3 新規職員採用について

- ・ 来年度の新規採用の合格発表が先月インターネット上に提示されていたが、
 - ア 今年の応募者は何人なのか。
 - イ 最終合格までどのような経過になるのか。
 - ウ 社会人枠はどの程度か。
 - エ 滑川市は何を基準において採用しているのか。毎年同じ方針か。

4 市道整備について

- (1) 市道宮窪大島線の拡幅工事は四ツ屋地内でストップして5年近くになるが、大島町内に向けての拡幅工事はいつからか。
- (2) 東部小グランド～市道柳原中村線間に歩道設置を。交差点付近で交通

事故が多発している。

- (3) 県への信号設置要望は市全体で8カ所、その内4カ所は早月加積地区である。どれも必要であるからとの地元要望であり、設置に向けもっと悲壮感をもって取り組んでもらいたい。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 子育て支援政策について

- (1) 本年度から実施の第2子保育料無料化に伴い、新生児の自然増あるいは他市町村からの転入増など、将来人口の確保について、どう分析しているのか。
- (2) 第2子保育料の無料化は働くお母さんへの応援であるが、3歳未満の子どもを保育所、保育園等に預けず、家庭で保育しているお母さんへの配慮も必要であると考えているが、見解は。
- (3) 子育て環境の充実を図るため、祖父母と同居を促す多世代同居、近くに祖父母がいて、互いに行き来しやすい環境にある近居住まいの推進など、第4次総合計画にも盛り込まれているが、具体的な施策はあるのか。

2 子どもたちの学力向上について

- (1) 土曜学習モデル事業について
 - ア 公欠、欠席児童・生徒の現状把握と対応をどう行っているのか。
 - イ 小学生には体験型授業、中学生には外部講師や教員OBの活用など、今後の取り組みとして、内容の変更はしないのか。
 - ウ 今後、授業時間数が足りないのなら更なる土曜授業の活用、あるいは夏休みの短縮等も考えていかなければならないと思うが見解は。
 - エ 今年度もアンケート調査を行なうのか。
- (2) 14歳の挑戦事業について
 - ア 本当に生徒のためになっているのか。
 - イ 職業体験の前に、職業選択に時間をかける必要があるのではないのか。
 - ウ 5日間の体験で、生徒達は何を学ぶと考えているのか。

3 子どもたちの安全安心について

- (1) 本年度の学校における熱中症対策は万全だったか。
- (2) 子どもたちが登下校する歩道について、雑草の草刈りや、消えかけて

いる白線の対応は。

中川 勲 議員（一般質問）

1 安全安心のまちづくりについて

- (1) 滑川市地域防災計画の運用に際して、職員は平素から訓練等を行い、内容の把握に努められているのか。
- (2) 8月30日から9月5日まで防災週間があり、1日各地でシェイクアウトとやまが実施されたが、滑川市は実施されたのか。
- (3) 震度7が2回の熊本地震・広島土砂災害・台風10号の豪雨の被害など、想定外の災害が発生したと言われる。もし、滑川市で起きた場合、どう対応されるのか。
- (4) 想定外の雨量により堤防が決壊し、大きな被害が出ている。地域の住民や施設の皆さんが逃げ遅れた。これは、自治体が避難指示を出していなかったとの事であるが、滑川市としての考えを伺う。
- (5) 市内には魚津活断層が存在しているとの事だが、確認されているのか。また対策は考えているのか。
- (6) 木造住宅耐震改修支援事業120万円の耐震改修助成があるが、現在申請はあるのか。
- (7) 市街海岸地帯に津波が発生した場合の避難塔の建設は考えられないのか。
- (8) 保育所、認定こども園、幼稚園に防犯カメラを設置する予定はないか。小学校・中学校はどうなっているのか。

2 18歳・19歳選挙権の取り組みについて

- (1) 7月10日に実施された参議院議員選挙において、全体の投票率と18歳19歳の投票率はどれだけか。18歳選挙権の啓発活動をされたが、反省点はあるのか。
- (2) 10月23日に富山県知事選挙が行われるが、今回も啓発活動はされるの

か。

- (3) 投票率が低い原因はいろいろあるようだが、小学生から政治参加教育を身に付ける教育が必要と言われている。当局の考えを伺う。
- (4) 期日前投票所の選考も必要ではないか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 財政について

- ・ 財政調整基金について
 - ア 現在の残高について
 - イ 過去の推移について
 - ウ 今後の取り組みについて

2 安全・安心について

- ・ のるmycarの予備車（定員12人）は立っている乗客にとっては、つかまるところが無い。買い替えてはどうか。

3 観光について

- ・ 湾岸クルージングの乗り場を整備してはどうか。

4 教育について

- (1) オリパラ教育について
- (2) 今後のオリンピック・パラリンピック選手や候補生を支援する「オリンピック・パラリンピック基金」（仮称）を創設してはどうか。

5 人事制度について

- (1) 定年後再任用された職員が部長職にとどまることは、滑川市独自であると考えているが、その理由は何か。
- (2) 今後の人事制度を検討する「人事制度検討委員会」を立ち上げてはどうか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 中滑川駅周辺の土地利用計画について

- (1) 平成24年9月定例会で最初に質問して以来4年が経過した。現在、土地利用計画は策定されたのか。
- (2) 平成28年3月定例会での質問に対する答弁では「協議会の立ち上げを考えている。」と発言された。協議会はいつの段階で設置するのか。また、そのメンバー構成はどのようになるのか。

2 産業の振興について

- (1) 今定例会において工業振興条例に基づく補助金が補正予算として計上されている。過去3年間に補助金を受け取った各企業の雇用はどれくらい拡大されたのか。
- (2) 平成28年8月31日付けで滑川市の創業支援事業計画が中小企業庁より認定された。今後、年間目標数をクリアするためにも、この制度をどのような形で活用していくのか。
- (3) 新規創業に関して、例えば、魚津市の新規開業支援策を参考にして、もう少しハードルを下げた支援策も必要だと思うが、市の見解はどうか。
- (4) 中小企業が元気なことが滑川市全体の活性化につながるものと考えている。そのためにも中小企業を底支えする施策が必要と思うが、市の見解はどうか。
- (5) 例えば、魚津市で行われているインターネットモール出店助成金制度（平成28年度～）や資格取得助成金制度（平成27年度～）等の補助制度の導入を検討してはどうか。

3 財政状況について

- (1) 土地開発基金の現在の残高状況及び過去に基金で土地を購入し、いまだに一般会計で買い戻しされていない物件の今後の対応について市の見

解はどうか。

- (2) 平成26年度決算カードによれば、単年度収支と実質単年度収支ともに赤字となっている。また、平成27年度決算書によれば、単年度収支が2年連続の赤字となっている。これらのことに関しての市の見解はどうか。

- (3) 今議会に報告されている中期財政計画において、財政調整基金の残高が平成28年度から平成32年度の5年間で概ね半減している。このことに関する市の見解はどうか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 観光資源の活用について

- (1) 交流人口拡大のため、滑川市あるいは周辺にある観光資源の活用が求められるが、どのような観光資源があり、それぞれどのように活用していくのか。
- (2) 先に開催された「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進会議には、どのような取り組みが期待されるか。
- (3) 8月末に認可された滑川漁港を起終点とする旅客不定期航路事業のねらいは何か。
- (4) 観光資源の活用について、湾全体で連携する取り組みが求められる。滑川市は、観光船を所有している市町や事業者との連携をして行くべきと思うが、どうか。
- (5) 富山湾岸クルージングについて
 - ア 観光船キラリンの湾岸クルージングの実績と今後について、料金・コースは。
 - イ 湾岸クルージングの受付から乗船場までの改良は。
 - ウ せっかく急速冷凍機を購入した。船内で飲食できる許可を取り、「ほたるいか丼」を提供し、滑川の名物にしてはどうか。
 - エ 観光船キラリンにもっと飾りをして乗りたくなるようなデザインに。
 - オ 海上観光検討会をつくって盛り上げよう。市で観光船を持っている滑川だからしてほしい。

2 滑川市の情報の発信（PR）手法について

- ・ 滑川市には全国や海外に発信すべき魅力が沢山ある。地域の魅力の情報発信は、これまで行政あるいは地元住民が中心的役割を担ってきた。しかし今後はより効率的、効果的な情報発信手法が求められるとともに、第三者視点の導入が必要と考える。
 - ア 地域の魅力にどのようなものがあると考えているか。
 - イ 地域の魅力情報発信に第三者の視点を導入することは考えた事はな

いか。

ウ 今後の地域の魅力の情報発信にどのように取り組んで行くか。

3 人口減少時代への対応について

- ・ 明治維新以来150年、人口が常に増加し続けてきた時代は既に終わり、大きく減少を続ける時代に転換した。既に中高年を中心とした従来型の価値観では、対応できない時代になっていると考える。これからの若者が夢と希望を持てるよう、地域で若者を支えるまちづくりが求められる。
 - ア 滑川市のいろいろな審議会の年齢構成はどのようになっているか。
 - イ 各種審議会に若い方々を積極的に登用するなど、若者の意見をしっかり聞く場を設ける必要があると思うが、どうか。
 - ウ 審議会を土曜・日曜に開催することを試行的に実施してはどうか。
 - エ 地元の企業と行政が情報を共有し連携するなど、地域全体で若者を支える取り組みが求められると思うが、どうか。
 - オ 若者の経済的、身体的、精神的負担を少しでも軽くする取り組みが必要と考えるが、どうか。
 - ・ 全国知事会での富山県の取り組みなどすぐにしてはどうか。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練について伺う

- (1) 来る9月23・24日の両日に予定されているこの種の訓練は、中部7県が参加する大規模な訓練と聞いている。市民にどのような形で周知し、防災の意識高揚につなげるか。
- (2) 各種訓練の主体を担う会場となるようだが、本市及び富山県東部消防組合としての対応をきちんとすべきと思うが伺う。

2 県・ドクターヘリ運航1周年経過に関して、我が市の対応について伺う

- (1) 市内で要請がある場合の手順は。どのような「場所」であれば、「状況」であれば、また、「誰が」の手順はいかに。
- (2) ヘリコプターは、大変「便利」なものであり「危険」なもの。機長を初めとする隊員は、訓練に訓練を重ねたベテラン隊員と思うが、地上での配慮がされているのか！
- (3) ドクターヘリは、「いつ」「どこにでも」というわけにはいかず、市内で22カ所あるとされている「ランデブーポイント」は、各校下や周辺市民に周知されているか。

3 有害鳥獣対策の近況を伺う

- ・ 年々増してくるイノシシ、サル、カラスの被害。本年特に熊の出没が多いのではと予想。その対応等について伺う。

角川 真人 議員（一般質問）

1 防災について

- (1) 沖田川放水路の完成がもう間近となった。水害に対する効果はどのよう
うに見ているか。
- (2) 地震等による津波が発生した際に、避難するべきところは十分か。
- (3) 福祉避難所とされているカモメ荘は、あまりにも海に近い。津波対策
は大丈夫なのか。

2 熱中症対策について

- (1) 我が市はスポーツの振興に力を入れているが、屋外での熱中症対策は
どのように行っているか。
- (2) 消雪装置の目詰まり解消も兼ねて、夜間にでも打ち水のように水を出
してはどうか。

3 映像によるPR活動について

- (1) ホームページ上のYouTube 滑川ちゃんねるがあまり活用されていない。
もっとイベントごとに動画を上げてはどうか。
- (2) Net3にも協力を願い、花火中継をケーブルテレビで行ってはどうか。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 ジャパンエキスポ・パリ出展を無駄にしないために

- (1) ジャパンエキスポ・パリに出展をして、滑川市の交流人口増加のためのヒントに、何を持ち帰ってきたのか。
- (2) フランス語のパンフレットを作成して、当日会場で配布したそうだが、そのパンフレットを頼りにして滑川市に来る来場者はいると思うか。
- (3) 日経トレンディのジャパンエキスポ・パリ分析記事によると、来場者のほとんどはインターネットによる情報入手で来場している。今や海外旅行の事前情報収集はインターネットが主流となっている。滑川市のホームページも滑川市観光協会のホームページも、日本語表記のみ。まずは英語、次いで富山県への来県者数が多い台湾向けの言語展開をしたホームページを整備すべきではないか。
- (4) 国内・海外旅行を問わずさまざまな情報収集ができて、世界中の人が利用している「トリップアドバイザー」という旅行口コミサイトがある。女子学生のモニターツアーの発信はSNSにとどまらず、トリップアドバイザーへの書き込みも協力してもらい、世界発信の一助にしてはどうか。

2 土曜授業が子どもたちにとってベストなのか

- (1) 滑川市の土曜授業は、平日の授業時間の削減分を土曜日に回している。土曜授業の目的として導入時に答弁されていた、「学習指導要領改訂に伴う授業時間の余裕のなさを解消すること」には一切つながっていない。授業時間の確保を目的とするのであれば、全小中学校に空調も入っており、立山町のような夏休みの短縮という選択肢がより有効ではないか。
- (2) 教育委員会会議録の中で、土曜授業に関する質疑で学務課長が「理数教育の充実に関しても学習指導要領でやるべきものをきちんとやった上で興味関心のものをとすることは非常に大事であるので、平日にしっかりと教育課程内のものをして、さらに応用編として土曜授業でできれ

ばよいと思う。」と発言している。そもそも平日の授業時間を削減しているのに、教育課程をしっかりと行って、授業時間を増やしていないのに「応用編」を追加することが可能なのか。理数教育にとって最も重要な基礎が疎かになりはしないか。

- (3) 授業時間を増やさずに「教育課程特例校」の指定を受けると、理数科目を優先させた結果、どの科目を削減することになるのか。
- (4) 教育委員の皆さんからも、現行の土曜授業の継続に疑義が呈されており、大阪での視察を受けて土曜授業から土曜学習への転換についても提案がある。教育長の答弁は見直しに否定的なものが多いようだが、アンケートでも土曜日には復習や発展問題学習、講演や専門家による学習というニーズが高い。子どもたちにとってベストな選択をしてもらいたいと思うが、見直しについて検討していくか。
- (5) 「学習指導要領の改訂に伴う授業時間の余裕のなさ」が現実としてある中、土曜授業の導入、理数教育の推進、北陸新幹線による小諸市訪問、富山湾岸クルージングの利用など、市提案の新規事業が本来の教育課程から余裕を奪い、圧迫していることはないか。新規事業を取り入れるのであれば、従来の事業を見直し・廃止をするということを合わせて行うべきではないか。

3 屋内練習場に見る事業採択の透明性について

- (1) 後期基本計画に突然記載があり、3月議会に目玉事業として登場した「屋内練習場」建設事業だが、「市民の要望」による事業計画とされている。いつの時点で誰から誰にどのような形で要望が出されたのか。
- (2) 要望を受けて、建設をするかしないかの協議はどのレベル（市長と教育長の間など）でなされたものか。それとも建設ありきで議論はなかったのか。
- (3) 定例教育委員会の会議録を見ても屋内練習場について、説明並びに議論をされた経過が見当たらない。首長から独立した合議制の住民による意思決定をする機関である教育委員会において、屋内練習場建設について議論の必要性を感じるが、3億9500万円に上る事業に対して議論の機会は設けられなかったのか。

- (4) 屋内練習場の要望を寄せた保護者以上に、以前から放課後児童育成クラブの専用施設を求める声の方がより多く聞かれる中、前期基本計画では一切触れられなかった屋内練習場が後期基本計画に入ると同時に予算計上されるという流れに、教育委員長は違和感を覚えないか。
- (5) 3月議会に実施設計予算を計上しておきながら、5カ月経っても設計に着手をせず、総務文教委員会に提示された設計費・監理費の追加額から推測すれば、3倍近い計画見直しを行うという曖昧な計画で行った予算計上に対して、事業採択に対する財政の見極めなどに危うさを感じる。そもそも滑川市に個人や団体が寄せるさまざまな「あればうれしいもの」を作る財政的余裕はあるか。事業の優先順位決定、財政の担保など、適正な事業採択が行われているのか。

青山 幸生 議員（一般質問）

・ 地方創生、ひと・まち・しごとについて

- (1) 第4次総合計画が目指す将来像は、「ひと・まち・産業が元気なまち滑川」であり、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方と基本的に合致するものであると滑川市ひと・まち・産業（しごと）創生総合戦略にも記載されている。重要施策として進捗と意気込みを問う。
- (2) 滑川のひと・まち・しごとの魅力を掘り起こすデザインプロジェクトを推進するN+D=！について
 - ア Step01夢の種まきを開催し、266個の種を集めたが今後どのように取り入れるのか。
 - イ ホタルイカ×アイディアソンでメニュー3品を創作したが、今後の展開は。
 - ウ 滑川LOBBYでは異業種交流も含めクリエイティブな方々を集めたが、具体的な内容は。
 - エ 来年度の予算はどうか。
- (3) 滑川市のナンバーワンまたはオンリーワンは、何がいくつあるか。
- (4) 6月定例会で質問した人口増加に向けての第2子保育料無料化ポスターの進捗はどうか。
- (5) キラリン光の旅（絵本）の反応はどうか。続編は考えていないか。
- (6) 理数教育講演会等の反応はどうか。また今後のスケジュールは。
- (7) 理数教育課程推進校を指定した寺家・北加積・西部の各小学校の進捗は。

